

『プラグマティズム』

真理の本質と実用性の追求



（例）数学の公式を覚える

- 単に公式を覚えるだけではない
- ⇒ その公式を使ってどう役立つかを理解することが真の意味を知ることに

- [x] これまでの哲学 → 真理はたった一つしかない
- [x] プラグマティズム
  - 真理は一つではなく、人それぞれに違う
  - 本当に役に立つかどうかを重視
  - 「実用主義」 → 真理＝役に立つもの

真理の多様性と進化

真理は人それぞれ

- 何が役に立つかは、人によって違うから
- でも多くの人が「これが真理だ」と信じるなら
- ⇒ それは社会の中で真理になる

真理は進化する

- 今知っている真理はあくまで「真理に近いもの」
- ⇒ 経験を積むことでアップデートしていく



（例）
今若者に人気のファッションも
10年後は別の流行に置き換わっている

個人の尊重とフェアな社会

アメリカ社会への影響

- 一人ひとりに真理がある考えが普及
- ⇒ 個人の価値観を大切にする考えになる

科学と宗教の存在

- 役に立てばいずれの存在も認められる

問題点



結果に重視するあまり

- プロセスを見落としがち
- 場当たり的な判断になりがち